

50周年事業運営委員会

委員長：貴田 忍
副委員長：東海林昭宏
幹事：神村登波子
委員：高橋 勇介
委員：渡邊 正孝
委員：三宅 秀典
委員：高橋 秀和
委員：佐藤 元一
委員：土屋麟太郎

<事業名>

1. 50周年記念式典の実施
2. 50周年記念事業の実施
3. 50周年記念誌の作成及び発行
4. まちづくり事業に関わる諸団体との連絡調整及び協力
5. 会員拡大を図る活動の実施
6. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加
7. SDGsの推進と活用

<事業概要>

1. 50周年記念式典の実施
 - ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
2. 50周年記念事業の実施

2-2 3月委員会事業

事業名：手作りマスクプロジェクト

実施日時：2020年3月26日（木）～2020年5月30日（土）

場所：将棋むら 天童タワー

参加者：LOMメンバー 26名

一般市民 36名

合計 62名

内容：新型コロナウイルス感染症拡大のため、マスクの入手が全国的に困難な状況に陥りました。メンバーや市民を巻き込み、布製手作りマスクを製作し必要とされている個人に987枚郵送し、日常活動と心理的側面の安心に繋がられました。

3. 50周年記念誌の作成及び発行

3-1 事業名：50周年記念誌の作成

内 容：これまで紡がれてきた天童青年会議所の歴史や伝統を振り返るとともに、彬子女王殿下からお言葉を賜りました。また、関係諸団体や歴代理事長から寄稿文を頂きました。そして、これからの天童青年会議所が進むべき道を示し関係諸団体やOBからご理解・ご協力をいただくためにも、未来に向けた想いや青年会議所のあるべき姿を掲載した冊子を作成しました。

4. まちづくり事業に関わる諸団体との連絡調整及び協力

内 容：天童市のまちづくり事業に関わる諸団体と連携し、メンバーに周知を行い積極的に各種諸団体の事業へ協力しました。

事 業 名：第30回 天童夏祭まつり

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

5. 会員拡大を図る活動の実施

会員拡大のために、拡大会議に参加し情報収集に努めました。

6. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加

出向者支援として、WEBにて出向者の勇姿を見届けました。また、委員会内で各種大会に積極的に参加するよう呼びかけました。

7. SDGsの推進と活用

手作りマスクプロジェクトにて、裁断した際に出る布やガーゼを捨てずに子供用マスクを作成しSDGsの推進と活用に結びました。

<奥山実行委員長コメント>

今年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、私たちの生活に様々影響が出ているなか、理事者や当委員会で事業開催の検討をした結果、苦渋の決断でしたが50周年記念式典や50周年記念事業の中止を決断させていただきました。しかし、これまで支えていただいた皆様に「感謝」を伝えさせていただくため、理事者のご協力をいただきながら、貴田委員長始め委員会メンバーの皆さんが力を合わせて記念誌の作成に取り組んできました。そこで、これまでの50年の歴史やあゆみを振り返ることで、先輩諸氏へ改めて敬意と「感謝」の気持ちを胸に、今後もこの地域の発展に向け天童青年会議所のメンバーとしての責任と覚悟を持つことが出来たと思っております。また、今後より一層メンバーが一丸となって若者らしく果敢に挑戦し、明るい豊かな社会の実現に向けて邁進して行くべきと考えます。

<渡部副理事長コメント>

今年50年の節目を迎える年に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で50周年記念式典を始め多数の事業が中止を余儀なくされましたが、感染症の対策を行いながら、事業構築や事業運営を展開してまいりました。委員会メンバーのモチベーションの維持など、委員長共々苦勞したところではありますが、

コロナ禍の中で市民が今何を必要としているかを考え、年間計画には無い事業を展開した一年間でありました。目には見えない新型コロナウイルス感染症拡大の恐れがある中で、市民意識変革団体としての在り方を試されている一年間であったと感じております。

<貴田委員長コメント>

記念誌の発刊にあたり50年間分の総会資料や駒を一読し、改めて諸先輩に敬意を表すとともに天童青年会議所は多くの関係各団体並びに天童市民の皆様方より育ていただいたことに感謝しながら作成と編集に力を注ぎました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、7カ月余りの時間記念誌作成は中断となり、再起したのが9月末でした。限られた時間で委員会メンバーそれぞれが今できる力を振り絞り発刊へと繋げました。

多忙な1年を振り返り、メンバー一人ひとりがさらに天童で活躍し続けることを期待します。

<東海林副委員長コメント>

50周年に関する事業を構築するにあたり過去に実施された多くの事業資料に目を通させていただき、入会から10年が経ちましたが改めて先輩諸氏が築き上げてきた歴史の重みを感じることができました。

参考 [個別事業決算報告書](#)

ブロック大会準備委員会

委員長：伊藤 光 委員：佐野 峻也
幹 事：近藤阿由良 委員：佐藤 一穂
委員：本田 孝

<事業名>

1. 公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 2021年度第54回山形ブロック大会の開催に向けた各種準備
2. 公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 2020年度第53回山形ブロック大会例会の実施
3. 組織力向上と会員の意識向上を図る事業の実施
4. まちづくり事業に関わる諸団体との連絡調整及び協力
5. 会員拡大を図る活動の実施
6. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加
7. SDGsの推進と活用

<事業概要>

1. 公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 2021年度第54回山形ブロック大会の開催に向けた各種準備の実施
 - ・ブロック大会式典での次年度開催地LOMのPR動画作成
 - ・横幕の作成
ブロック大会式典での次年度開催地LOMのPR撮影で使用しました。
 - ・開催場所の選定
各種開催場所の候補地を選定しました。
 - ・2021年度山形ブロック大会の発信（総務広報財政委員会と連携）
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施しませんでした。
 - ・山形ブロック協議会と山形ブロック大会主管LOMとの関わりをメンバーに周知
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施しませんでした。
2. 公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 2020年度第53回山形ブロック大会例会の実施
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
3. 組織力向上と会員の意識向上を図る事業の実施
 - 事業名：2020年度第53回山形ブロック大会高畠大会式典の開催について（委員会事業）
 - 実施日時：2020年11月23日（月）13：00～13：30
 - 場 所：舞鶴山山頂
 - 参加者：LOMメンバー 28名

内 容：当初第53回山形ブロック大会高島大会にて次年度開催地LOMのPRを行う計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となり、式典のみ撮影したものを全体配信することとなりました。次年度開催地LOMのPRを撮影し全体配信の動画に組み込み、県内各地会員会議所メンバーへ発信しました。

4. 組織力向上と会員の意識向上を図る事業の実施

事業名：「全国一斉花火プロジェクトーはじまりの花火ー」（委員会事業）

実施日時：2020年07月24日（金）20：00～20：05

場 所：舞鶴山山頂

参加者：LOMメンバー 44名

市民

合計 44名

内 容：近年、天童青年会議所では打上げ花火を行っていませんでしたので、花火打上げに関して苦労しましたが、小雨の中無事に大きな花火をあげることができました。市民へ向けて、コロナ禍で少しでも前向きになっていただくために、「全国一斉花火プロジェクトーはじまりの花火ー」として舞鶴山山頂にて打ち上げ花火を行いました。

4. まちづくり事業に関わる諸団体との連絡調整及び協力

内 容：天童市のまちづくり事業に関わる諸団体と連携し、メンバーに周知を行い積極的に各種諸団体の事業へ協力しました。

4-1 事業名：第8回 天童高原スノーパークフェスタ

実施日時：2020年2月8日（土）、9日（日）

場 所：天童高原

参加者：2020年2月8日（土） LOMメンバー 8名

2020年2月9日（日） LOMメンバー 13名

内 容：チューブスライダー運営

4-2 事業名：第9回 天童高原634の松交流イベント

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

4-3 事業名：第31回 天童高原祭り

・新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

5. 会員拡大を図る活動の実施

委員会内で情報共有を行いました。

6. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加

委員会内で各種大会への参加促進を行いました。

7. SDGsの推進と活用

「全国一斉花火プロジェクトーはじまりの花火ー」を通して、新型コロナウイルス感染症の最前線に対応する医療従事者等に感謝と敬意を表すとともに、感染症拡大防止に向けて取り組みました。

<赤塚副理事長コメント>

2021年第54回山形ブロック大会主管に向けたブロック大会準備委員会でしたが、当初の計画から軌道修正し、地域の現状や課題を捉えて運動を展開した一年でした。特に、「全国一斉花火プロジェクトーはじまりの花火ー」を当委員会を担当させていただき、コロナ禍において市民に少しでも前向きになっていただけるように事業を実施させていただきました。計画時には、伊藤委員長とともに花火打上げに向け、様々なハードルに難儀しましたが、打上げを行った後には感動を覚えました。天童青年会議所として、この花火打上げの経験や実績は次年度以降の未来へ向けた大きな一歩だと考えております。第53回山形ブロック大会高畠大会式典の動画配信において、次年度開催地青年会議所PRを多くのメンバーで発信できたことは、主管する私たちの機運をあげることができましたし、私自身も2021年はしっかり汗をかいてまいりたいと思います。

<伊藤委員長コメント>

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初の計画通りに運動を展開することが出来ず、現状を踏まえながら臨機応変に対応していかなければならない1年となりました。そんな中、「全国一斉花火プロジェクトーはじまりの花火ー」を通して、市民の皆様の前向きな気持ちを持っていただいたことは、私達にとっても励みとなりました。また、なかなか天童市では難しかった花火を打ち上げられたことは、今後の天童青年会議所の事業展開へ一石を投じることができたのではないかと思います。そして、ブロック大会準備委員会として、次年度山形ブロック大会主管に向けた様々な準備や次年度開催地PRを行ったことで、メンバーの当事者意識と主管に向けた機運を高めることができたと感じております。

2021年第54回山形ブロック大会天童大会が大成功となるよう、次年度体制へとしっかりと引き継ぎながら準備を推し進め、天童の発展に寄与していけるよう邁進していきたいと思います。

参考 [個別事業決算報告書](#)

会員開発委員会

委員長：黒田 芳徳 委員：押野 将太
副委員長：関東 英之
委員：伊東 亮

<事業名>

1. 新入会員育成事業の実施
2. 会員相互の交流を深め、新たなビジネスの機会を考える事業の実施
3. 年間を通じた会員拡大を図る活動の推進
4. 天童ひまわり園・ふれあい天童と交流を図る事業の実施
5. J C 杯球技大会の実施
6. 会員拡大を図る活動の実施
7. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加
8. SDG s の推進と活用

<事業概要>

5. 新入会員育成事業の実施

1-1 事業名：教えて理事長！天童青年会議所入門塾

実施日時：2020年5月26日（火）20：00～21：30

場所：WEB（ZOOMにて開催）

講師：理事長 矢口 太

参加者：新入会員 2名

内容：理事長より青年会議所とはどんな組織であるか、また、自身の経験をもとに青年会議所活動を続けることで得られたものを講演いただき、新入会員の活動の意欲向上につなげました。

1-2 事業名：教えて理事長！Ⅱ SDG s とは！

実施日時：2020年12月3日（木）20：00～21：30

場所：WEB（ZOOMにて開催）

講師：理事長 矢口 太

参加者：新入会員 2名

内容：理事長よりSDG s（持続可能な開発目標）についての概要と、我々がSDG sをどのように社業や青年会議所活動に活かしていけるかをテーマに講演いただき、新入会員の成長につなげました。

6. 会員相互の交流を深め、新たなビジネスの機会を考える事業の実施

2-1 事業名：青年団体交流例会（例会）

実施日時：2020年2月26日（水）18：30～22：15

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 舞鶴の間

参加者：LOMメンバー 25名
天童商工会議所青年部メンバー 24名
新入会員候補者 10名
合計 59名

内 容：天童の青年経済人として、天童青年会議所メンバーと天童商工会議所青年部メンバー、入会候補者を対象とし、天童商工会議所青年部会長と天童青年会議所理事長より対談形式にて、それぞれの組織の特徴と魅力についてお話しいただきました。天童商工会議所青年部、新入会員候補者とお互いの理解を深めることができ、青年経済人の成長につなげる機会となりました。

2-2 事業名：JCI公式セミナー CCプログラム（例会）

実施日時：2020年9月30日（水）19：10～21：00

場 所：①WEB ②将棋むら天童タワー（ハイブリッド形式にて開催）

参加者：LOMメンバー 27名
オブザーバー 豊前青年会議所 2名

講師：ヘッドトレーナー高橋 美博氏、トレーナー 広瀬 哲也氏

内 容：当初天童市内の青年経済人及びメンバーを対象に新たなビジネスの機会を考える事業を開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対内例会に切り替えました。様々な制限がかかる中で行動することの大切さやきっかけについて学ぶためにCCプログラムを受講し、今後の活動に対する意欲を高めることができました。

7. 年間を通した会員拡大を図る活動の推進

3-1 情報の共有発信

内 容：会員拡大用のLINEグループを作成し、メンバー全員に拡大活動状況を発信しましたが、年間を通して継続させることができませんでした。

3-2 拡大会議の設置

①

実施日時：2020年8月19日（水）19：30～21：00

場 所：WEB（ZOOMにて開催）

参加者：LOMメンバー 13名

内 容：新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い会議の開催を定期的に行いませんでしたが、WEB会議で入会候補者の情報共有および確認後、候補者企業の訪問を行いました。

②

実施日時：2020年12月7日（月）20：00～21：00

場 所：WEB（ZOOMにて開催）

参加者：LOMメンバー 6名

内 容：現在の拡大候補者リストをもとに情報共有を行い、次年度体制への引継ぎをしました。

8. 天童ひまわり園・ふれあい天童と交流を図る事業の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大のなか開催できる方法がないか天童ひまわり園様・ふれあい天童様と協議を重ね模索をしましたが、感染防止対策を徹底したとしても感染の懸念を払しょくすることができず、今年の開催は難しいという結論に至り、事業の中止となりました。

9. JC杯球技大会の実施

事業名：第49回JC杯球技大会

実施日時：2020年9月26日（土）8：00～15：10

2020年9月27日（日）7：30～15：30

場 所：天童市スポーツセンター 多目的運動広場

主 管：天童市サッカー協会

参加者：大会参加者	112名
天童市サッカー協会	8名
<u>LOMメンバー</u>	<u>18名</u>
合計	138名

大会結果：1位 まいづるFC

2位 つばさキッカーズ

3位 北斗FC

4位 蔵増サッカースポーツ少年団

5位 津山サッカースポーツ少年団

6位 荒谷サッカースポーツ少年団

7位 天童中部サッカースポーツ少年団

内 容：参加者にスポーツを通して仲間との切磋琢磨や、努力をすることの尊さを体験してもらうことを目的に大会に参加していただきました。また、子供たちはコロナウイルス感染症の拡大に伴いサッカーについても自粛期間があったことから、プレーできることへの感謝、対戦相手への敬意をより一層持っていただくことができました。

10. 会員拡大を図る活動の実施

2名が入会し、拡大の情報をLOMに共有しました。また、次年度3名の入会予定につなげました。

1 1. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加

委員会内で各種大会に積極的に参加するよう呼びかけ、委員会メンバーが下記に参加しました。

- ・東北ゼミナール委員会開講式
- ・東北WEBカンファレンス
- ・(WEB開催) 全国大会北海道札幌大会
- ・(WEB開催) 世界会議横浜大会

1 2. SDGsの推進と活用

2月第一例会で「パートナーシップで目標を達成しよう」、9月第一例会で「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」を活用し事業計画をしました。また、新入会員育成事業にてSDGsについてのセミナーを受講し、委員会への推進を図りました。

<森谷副理事長コメント>

副理事長として委員長を見守る立場になり、昨年までの立場との違いからいろいろと悩んだ1年間となりました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業の中止や拡大の停滞と例年と違う課題に取り組まなければならない、委員長には多くの苦勞をかけてしまいました。その中でも、新会員の指導や、委員会一丸となり2つの例会とJC杯球技大会に取り組み、例年にはない学びも得られた1年になったかとも思います。今年の課題を基に更なる発展を遂げられるよう委員会メンバーの次年度の活躍に期待しています。

<黒田委員長コメント>

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、従来の手法で会員拡大を進めていくことが難しく、迷走する一年でした。また、育成についても事業の中止が続くなかで、どうすれば新会員に青年会議所へ意欲を高めることができるのかを模索する日々が続きましたが、悩みを深めれば深めた分だけ委員会メンバーとの絆を深めることができ、自分自身も成長することができたと感じています。2月第一例会では商工会議所青年部のメンバーと新入会員候補者との合同例会を開催し、これからの天童をけん引する面々が一堂に会し、相互の理解を深めることができました。9月第一例会ではJCI公式セミナーであるCCプログラムをWEB形式で受講し、様々な制限がかかる現状であるからこそ行動を起こすことの重要性を改めて学ぶことができました。年初に掲げた計画を思うように進めることができず反省も残りますが、今年度の反省と取り組みをしっかりと引継ぎ、次年度の会員拡大と会員の資質向上に引き続き寄与できるように邁進してまいります。

参考 [個別事業決算報告書](#)

事務局

会 務 理 事 : 片 桐 一 樹

会務セクレタリー: 三浦 真人

会務セクレタリー: 菊地 実穂子

<事業名>

1. 本会議所運営の総括
2. 広域まちづくり協議会4LOM合同例会の実施
3. 公益社団法人日本青年会議所AWARDS JAPAN 2020 褒賞申請
4. 公益社団法人日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会との連携調整
5. 災害時発生時における対外・対内連絡調整
6. 災害時支援・受援マニュアルの管理及びリストの作成
7. 渉外業務の全般
8. 総会資料の作成
9. 各種大会への参加促進
10. 事務所利用及び備品管理に関する調整
11. 会員拡大を図る活動の実施
12. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加
13. SDGsの推進と活用

<事業概要>

1. 本会議所運営の総括
内 容 : 対内外への連絡調整や提出物に関する期日の遵守、メンバーが効率的に活動できるように規律ある団体として健全な運営を行いました。
2. 広域まちづくり協議会4LOM合同例会の実施 (例会)
内 容 : 2020年2月に新型コロナウイルス感染者が増加し、2月27日に内閣府から公益法人に対して、イベント等の開催において全国一律の自粛要請を行うものではないものの、地域や企業に対して、大人数が集まる事業については大規模な感染リスクがあることを勘案し、中止の要請がありました。本要請を受け、主管の山形青年会議所をはじめとした広域まちづくり協議会にて協議し、感染リスクを避けるため本事業を中止しました。
3. 公益社団法人日本青年会議所AWARDS JAPAN 2020 褒賞申請
内 容 : 褒賞事業の担当者と連絡調整をし、褒賞申請を行いました。また、過去の入賞事例を参考資料として活用し、申請時の事業詳細を当時の委員会メンバーとともに作成し申請を行いました。
申請事業 : 地域社会向上プログラム
2019年度9月第一例会「天童タイムスリップキャンプ」

4. 公益社団法人日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会との連携調整

内 容：各種会議、セミナー、大会登録の連絡を行いました。

5. 災害時発生時における対外・対内連絡調整

内 容：支援要請に対して速やかに取りまとめを行いました。天童青年会議所災害支援受援マニュアルに基づき行動し、地域関係諸団体と速やかに連絡調整を行いメンバーへ周知しました。

6. 災害時支援・受援マニュアルの管理及びリストの作成

内 容：災害支援・受援マニュアルの管理を行い、リストを作成しました。2020年7月に発生した山形県内豪雨災害の際に支援マニュアルに沿ってボランティア活動を行いました。

【大石田町社会福祉協議会 災害支援ボランティア参加者】

8月3日（月） 1名

8月4日（火） 6名

8月5日（水） 12名

8月6日（木） 6名

8月7日（金） 5名

8月8日（土） 4名

【天童市 最上川防波堤掃除参加者】

8月11日（火） 4名

7. 渉外業務の全般

内 容：関係諸団体や各LOMとの連絡調整を行い、送付物などに迅速に対応しました。

8. 総会資料の作成

内 容：関係資料を取りまとめ、対内外と連絡調整を実施し、総会資料を作成しました。

9. 各種大会への参加促進

内 容：出向者や事務局から各種大会の魅力をメール、SNSを通して発信しました。また、大会の開催地の魅力を委員会へ直接訪問して伝えることで、参加促進を行いました。

10. 事務所利用及び備品管理に関する調整

内 容：例会や委員会後一週間以内を目安として使用備品の片付けを担当委員会に通知し実施いただくことで、事務所の整理整頓を行いました。事務所利用に関して、グーグルカレンダーを使用し共有することで、対内的な周知に活用しました。また、持ち出し可能な資料や備品に

については紛失等がないように書類に必要事項を記載していただき管理する予定でしたが、書類の用意ができず管理の徹底ができませんでした。

11. 会員拡大を図る活動の実施

内 容：新聞・広告から天童市内で会社あるいは店舗の経営者に関する情報を収集し、会員開発委員会に情報提供を行いました。

12. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：下記の各種大会に参加し、出向者の後方支援を行いました。

- ・京都会議（参加者者数：8名）
- ・東北ゼミナール委員会開講式（参加者数：5名）
- ・金沢会議（参加者数：5名）
- ・東北WEBカンファレンス（登録者数：5名）
- ・（WEB開催）全国大会北海道札幌大会（登録者数：41名）
- ・（WEB開催）世界会議横浜大会（登録者数：30名）

13. SDGsの推進と活用

13-1 C-3 MEETINGの実施

ゴール番号：8. 働きがいも経済成長も

日 時：2020年6月26日（金）19:00-20:30

場 所：松伯亭あづま荘

参 加 者：天童青年会議所メンバー 22名

内 容：天童青年会議所メンバーの社業を応援し（Cheer）、メンバー同士が協力して（Collaborate）、新たなビジネスを創造（Create）する目的で、新型コロナウイルス感染拡大防止策のもと少人数で部屋を分散して開催しました。結果、ビジネスマッチングの機会を拡大することができました。また、メンバーの社業を一覧にしたメンバービジネスリストが完成し、今後のメンバー間ビジネス促進につながりました。

13-2 職業講話の実施

(1) 天童市立第四中学校 様

ゴール番号：4. 質の高い教育をみんなに

日 時：2020年2月20日（木）14:00-16:00

場 所：天童市立第四中学校

参 加 者：天童市立第四中学校1学年 120名

天童青年会議所メンバー 7名

内 容：中学生が職業人として仕事に向かう姿勢、地域に生きる人としての心構えについての意識を高めることを目的に職業講話を行いました。生徒たちは真剣な

眼差しで講話を聞き、積極的な質疑応答が交わされました。

(2) 天童市立第三中学校 様

ゴール番号：4. 質の高い教育をみんなに

日 時：2020年2月27日（木）13：30－15：30

場 所：天童市立第三中学校

参 加 者：天童市立第三中学校1学年 128名

天童青年会議所メンバー 8名

内 容：中学生が働くことや生きることの意義を考え、自分自身で将来を切り開いていこうとする態度を養うことを目的に職業講話を行いました。生徒たちは事前に多くの質問や興味を用意しており、講師であるメンバーと活発なコミュニケーションを図ることができました。

(3) 天童市立第三中学校 様

ゴール番号：4. 質の高い教育をみんなに

日 時：2020年12月7日（月）13：30－15：00

場 所：天童市立第三中学校

参 加 者：天童市立第三中学校1学年 120名

天童青年会議所メンバー 8名

内 容：中学生が地域で働く人々の話を聞いて、働くこと・生きることについての意義を考え、自分自身で将来を切り拓いていこうとする態度を養うことを目的に職業講話が開催されました。生徒たちは事前に仕事のこと、これからの人生のことを真剣に考え、働くことや生きていくことに好奇心を持って積極的に質問をし、講師も生徒たちの興味に対し、丁寧に受け答えをしながら、未来を担う子供たちと熱量のこもったコミュニケーションを図ることができました。

13-3 その他

内容：具体的には、ルームの消費電力の削減、禁煙化を実施しました。また、育児休暇制度・WEB会議などのスマート会議の導入を行い、日本青年会議所が推し進めるJC活動を並行しながらも活躍できる子育て支援等を積極的に行うことや、様々なライフステージにあるLOMメンバーが活躍できる組織環境の構築を通じて、誰もが活躍できる社会の実現を目指す育LOM推進プロジェクトにおいて、山形ブロック協議会17LOMで唯一、「育LOM」の認定を受けることができました。

<高橋専務理事コメント>

本年度は、年当初までは例年以上に対内外において諸大会が多く、メンバーとの緊密な連携が必要であると考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、ほぼ全ての予定が中止され組織としても大きな舵切りが必要となりました。運営の方向性を変える中で、事務局としてこの状況だから何が出来

るか、何を求められているかを考え、出来ることを出来るだけするという姿勢で一年間走りきったと感じています。特に7月に発生した県内北部の豪雨災害において、山形ブロック協議会、天童市社会福祉協議会と速やかな連携をすることで、メンバーから多くのボランティアスタッフを現地へ派遣することが出来ました。世の中が立ち止まっていますが、私たちが持つ責任において立ち止まらずしっかりと前を見据え歩めたと確信しています。

<片桐会務理事コメント>

天童青年会議所として、山形ブロック協議会をはじめ各LOMならびに社会福祉協議会と連携して、支援が必要な地域に対して微力ではありましたがボランティア活動を行いました。今回改めて災害発生時の連携がいかに迅速に行えるかで、より早く支援体制が整備できるかどうか決まることを痛感しました。災害が今後発生しないことを一番に祈りますが、今後さらに各LOMならびに地域関係諸団体と連携を強めたいと思います。

また、事務局として全メンバーが楽しい、参加したいと思える組織構築をサポートするべく、NO J C Dayの導入や全メンバー誕生日のお祝い、メンバー同士のビジネスマッチングを行ってまいりました。その結果、全国大会北海道札幌大会では9割のメンバーが登録するなど活動への参加意欲が確実に高まったと感じております。例会が中止になり、会議も対面して行うことが例年よりは減り、物理的な距離を感じる1年ではありましたが、矢口理事長がメンバー一人ひとりに心を配った結果、精神的な距離は縮まったと感じる我々にとって特別な1年になりました。

参考 [個別事業決算報告書](#)

将棋のまち創造委員会

委員長：仲野 大輔	委員：窪木 太一
副委員長：渋谷 祐信	委員：本間 光
幹事：東谷 敬信	委員：野口 賢吾
委員：鈴木 基弘	委員：今野 未菜
委員：黒沼 義治	

<事業名>

1. 第41回全国中学生選抜将棋選手権大会（第22回女子の部）の実施 県、地区予選会への協力
2. 全国中学生選抜将棋選手権大会のさらなる発展を目指した運営の模索
3. 将棋関連事業全般への協力
4. 天童桜まつりへの協力（天童桜まつり関連事業への参加を含む）
5. 会員拡大を図る活動の実施
6. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加
7. SDGsの推進と活用

<事業概要>

1. 第41回全国中学生選抜将棋選手権大会（第22回女子の部）の実施 県、地区予選会への協力（例会）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、政府より緊急事態宣言の発出による制限のため、本大会につながる各県の予選会も実施できず、天童市・公益社団法人日本将棋連盟・公益社団法人天童青年会議所の三団体による協議の結果中止となりました。

2. 全国中学生選抜将棋選手権大会のさらなる発展を目指した運営の模索

上記の理由のため、さらなる発展を目指した運営の模索ができませんでした。

3. 将棋関連事業全般への協力

新型コロナウイルス感染症拡大による影響から関連事業がすべて中止となったため、協力活動ができませんでした。

4. 天童桜まつりへの協力（天童桜まつり関連事業への参加を含む）（例会）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、主催の判断で桜まつりの開催が中止となったため、事業開催が出来ず協力することができませんでした。

5. 会員拡大を図る活動の実施

委員会で集まった際、メンバーへ新入会員候補者の聞きとりを行い情報の共有をしました。

6. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加

出向先の委員会と当委員会開催日時が重複しないよう心がけ、さらに各出向メンバーの本業に支障出ないよう配慮しました。また、委員会メンバーと各大会への参加に向けて日程調整し、気持ちを高めておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から各種大会が中止となったため、参加することが叶いませんでした。

7. SDG s の推進と活用

委員会開催時に飲食を伴う場合はフードロスを徹底し、SDG s の推進に努めました。

<仲野常任委員長コメント>

全国中学生選抜将棋選手権大会も、始まって以来初の中止となるなど、計画していた事業が全く開催できない異例の一年となりました。出来ることがなかなか見出せない中で、モチベーションを保つのが非常に難しかったです。密を避け少人数で委員会を行ったり、WEB会議を利用したりと工夫を凝らしなるべく一体感のある委員会づくりを心がけました。

参考 [個別事業決算報告書](#)

総務広報財政委員会

委員長：野口 勇樹 幹事：須藤 晃
副委員長：武田 康正 委員：門脇 皓嗣
副委員長：関 大輔

<事業名>

1. 総会の実施及び議事録の作成
2. 理事会の運営及び議事録の作成
3. 各種事業におけるセレモニーの運営実施
4. 財政審査会議の実施
5. OB・会員合同新年会の実施
6. 役員選考委員会委員選挙の実施
7. アニュアルレポート（出向者報告の取り纏めを含む）事業の実施
8. 会員（OB、賛助会員含む）データの管理及び名簿作成
9. メンバー間の円滑な情報伝達網の構築
10. 市民に広く行き渡る広報活動と独創的な情報発信
11. 法令を遵守した情報公開
12. コンプライアンスに関する事項の確認
13. 会計処理に関する事項の処理及び財務に関する確認
14. 会員拡大を図る活動の実施
15. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加
16. SDGsの推進と活用

<事業概要>

10. 総会の実施及び議事録の作成
 - 1-1 公益社団法人天童青年会議所 2020年度 1月通常総会
内 容：下記日程にて総会を開催し、議事録を作成しました。
日 時：2020年1月23日（木）16：40～16：50
場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥鶴の間
参 加 者：LOMメンバー 36名
 委任状出席 10名
 合計 46名
決議事項：第一号議案 2019年度 事業報告承認の件
 第二号議案 2019年度 収支決算報告承認の件
 第三号議案 2020年度 理事承認の件
 第四号議案 2020年度 監事選任の件
 第五号議案 特定資産取り崩し承認の件

第六号議案 公益社団法人日本青年会議所東北地区
第68回東北青年フォーラム全員 登録承認の件

1-2 公益社団法人天童青年会議所 2020年度 1月理事会

内 容：下記日程にて理事会を開催し、議事録を作成しました。

日 時：2020年度1月通常総会 終了後 17:00～17:20

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥鶴の間

決議事項：第一号議案 2020年度 理事長承認の件

第二号議案 2020年度 常任理事承認の件

第三号議案 2020年度 委員長・会務理事承認の件

1-3 公益社団法人天童青年会議所 2020年度 9月通常総会

内 容：下記日程にて総会を開催し、議事録を作成しました。

日 時：2020年9月2日（水） 20:00～20:30

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥鶴の間

参 加 者：LOMメンバー 25名

委任状出席 19名

合計 44名

決議事項：第一号議案 定款一部変更承認の件

第二号議案 諸規定一部変更承認の件

第三号議案 2021年度理事予定者及び次年度理事選任の件

第四号議案 2021年度理事長候補者選任の件

第五号議案 2021年度監事予定者及び次年度監事選任の件

1.1. 理事会の運営及び議事録の作成

(1) 会議資料のとりまとめを行いました。

(2) 理事会資料の事前配信しました。

(3) 会議資料の受付

- ・会議資料は完成された電子資料のみを期日まで受け付けました。
- ・理事会の充実を図るために、配布資料は原則PDFファイルでの提出とし、リンク付を完了した状態で受け付けました。
- ・審議の際は、資料訂正後に承認された場合、訂正した資料を次回の理事会までに受け付けました。

(4) 会議の運営

- ・議案上程にあたっては、会議次第にタイムスケジュールを明記し、円滑な進行の一助となるようにしました。

(5) 議案上程スケジュール

- ・適切な上程管理を行いました。

(6) 議事録の作成

- ・議事録に関しては、法令に則り作成し、理事会に提出しました。しかし、提出期限である翌月までには提出することが出来ませんでした。

(7) 各委員会議事録

- ・各委員会は必ず毎月1回以上開催し、議事録を毎月理事会へ提出しました。

3. 各種事業におけるセレモニーの運営実施

(1) 各種事業におけるセレモニー運営を行いました。

①開会セレモニー（15分）

理事長挨拶

該当事業担当委員長挨拶（趣旨説明含む）

②例会行事（各例会事業の計画による）

③閉会セレモニー（20分 監事講評含む）

監事講評

アテンダンス及び優良委員会の発表

連絡報告依頼事項

④3分間スピーチ

- ・屋内対内例会であった9月通常総会及び11月第一例会にて行いました。

発表者【9月通常総会】 菊地 実穂子 君

テーマ「自分の目指したいリーダー」

押野 将太 君

テーマ「自分の目指したいリーダー」

【11月第一例会】 武田 康正 君

テーマ「アフターJC」

関東 英之 君

テーマ「アメリカ大統領選挙について」

(2) 例会セレモニーの司会は総務広報財政委員会が行いました。

(3) 庶務規定6条に基づき、例会を欠席または遅刻する際の連絡は、当日正午まで総務広報委員会または例会担当委員会が受け付けました。

(4) 庶務規定6条に基づき、例会及び会議の出席率を3、6、9、12月の理事会に報告する。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が中止となったため、報告しませんでした。

(5) 庶務規定7条に基づき、メイクは事前に理事長を中心として常任理事会に諮り、理事会にて審議する。

メイクが無かった為、理事会にて審議しませんでした。

(6) 庶務規定8条に基づき、出席率30%未満の正会員に対し例会出席の呼びかけを行う。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が中止となったため、報告しませんでした。

- (7) 庶務規定9条に基づき、ネームプレート、バッジ、ネクタイの着用の励行但し、その用意が出席に支障をきたす場合は未着用でもよいものとししました。
- (8) 庶務規定11条に基づき、1年間を通じ事業内容及び出席率が優秀な委員会、および優良メンバーを理事会の決定により表彰しました。
- (9) 庶務規定14条に基づき、財務局長へ欠席にペナルティーの計算及び報告を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が中止となったため、ペナルティー制度も中止しました。
- (10) 例会出席の表の作成、集計を行いました。

4. 財政審査会議の実施

各委員会の担当者を集め、理事会前に財政審査会を行い、資料の確認を徹底しました。しかし、総務の担いを理解しておらず、参加者が少ない傾向にありました。

5. OB・会員合同新年会の実施（例会）

事業名：2020年度OB・会員合同新年会（例会）

日時：2020年1月23日（木）19:00～21:05

場所：ほほえみの宿 滝の湯 舞鶴の間

参加者：LOMメンバー 34名

OBメンバー 29名

来訪JC 16名

来賓 29名

合計 108名

内容：2020年度の組織体制のお披露目を行い、常日頃から御協力をいただいている関係各位やOB会員の皆様と天童青年会議所運動の方向性を共有することができました。また、関係各位の皆様がメンバーと懇親を深めることで、天童青年会議所へのご理解とご協力に繋げることができました。

6. 役員選考委員会委員選挙の実施

事業名：役員選考委員会委員選挙

日時：2020年7月21日（水）19:30～21:30

場所：天童タワー駐車場（正面口付近）

参加者：選挙権者数44名

（例会30%以上出席者、但し特別会員を除きます。）

被選挙権者数32名

（例会60%以上出席且つ3年以上在籍者もしくは理事経験者、但し理事長及び理事長経験者を除きます。）

内容：新型コロナウイルス感染拡大対策としてドライブスルー形式での選挙方法を用いて次年度役員選考委員会委員の選出のための選挙設営を行いました。選挙を通じて

メンバーが組織の一員として自覚を持つとともに、2021年度の役員選考委員会委員を決めることができました。

7. アニュアルレポート（出向者報告書の取りまとめを含む）事業の実施

事業名：アニュアルレポート

日時：2020年11月11日（水）19：00～21：15

実所：将棋むら 天童タワー

参加者：LOMメンバー 23名

内容：2020年度の事業報告を行うにあたり、各委員会が1年間の運動や活動から得た知識や経験を参加者全員で共有し、青年会議所運動への意識向上を促す機会を設けることができました。そして、出向者報告においても出向先での経験から得た学びや楽しさを共有し、出向に対する意欲を高めることができました。

8. 会員（OB、賛助会員含む）データの管理及び名簿作成

8-1 OB会員及び物故会員の把握及びデータ管理

内容：OB会員及び物故会員の聞き取りを行い、データ管理を行いました。

8-2 会員名簿の作成、メーリングリストの整備

内容：会員名簿に変更がある場合は会員調査票を求め会員名簿の作成を行いました。また、年当初にメーリングリストを作成し、新入会員は入会承認後、随時リストに追加し整備を行いました。

9. メンバー間の円滑な情報伝達網の構築

9-1 メンバー間の連絡及び情報交換ツールとしてメーリングリストを整備しました。

9-2 ホームページ上のメンバー専用ページからグーグルカレンダーにてスケジュールを共有し、日程確認をスムーズにできるようにしました。

9-3 LOMの諸情報は、パソコンまたはスマートフォンでのSNSを活用し、確実な連絡と緊急時の迅速な情報伝達を行い、そして、LOM以外の諸情報はメーリングリストを活用しました。

10. 市民に広く行き渡る広報活動

10-1 地域向け月刊情報誌サンデータイムスを利用した情報公開

内容：多くの天童市民の目に入るよう、市内全戸配布を行っているサンデータイムスを活用し、天童JCの運動や事業等を発信しました。

天童市内ポスティング（天童市内全戸配布） 22,900部

東根市内ポスティング（神町地区全戸・東根市中央） 9,000部

無料配布設置（天童、東根、村山、河北での公共施設、銀行、掲載店舗などで配布）

3,300部

合計

35, 200部

(毎月第2日曜日発行、ポスティングは第1日曜日より開始)

【こま第147号(春号)】

発行月 2020年4月

全段11段(W241×H377) 2ページ 発行部数35, 200部

理事長挨拶、公益社団法人天童青年会議所2020年度諸情報、

メンバー紹介、委員会年間スケジュール、新入会員募集記事 他

【こま第148号(秋号)】

全国中学生選抜将棋選手権大会が新型コロナウイルス感染拡大のため、事業を中止したことにより、こま第148号の発行も中止とさせていただきます。

10-2 ホームページを利用した情報の公開

内 容：天童青年会議所公式ホームページの更新を行いました。

- ① 各種例会、事業等の告知・報告をスピーディーに行えるシステム構築
- ② 動画配信対応
- ③ 法令を遵守した情報開示への対応
- ④ その他

10-3 外部への広報活動

内 容：公開例会、委員会事業等で、各委員会が対外的な広報活動を必要とする際、ホームページ・SNS等での情報発信を一元して行いました。

11. 法令を遵守した情報公開

内 容：以下事項を法令を遵守した上で情報公開を行い、ホームページでも開示しました。
定款、役員名、組織図、事業報告書、収支計算書、正味財産増減計画書
貸借対照表、財産目録、事業計画書、収支予算書

12. コンプライアンスに関する事項の確認

(1) 各議案におけるコンプライアンスチェックシート作成を徹底する。

・上程書類全てにおいて、コンプライアンスチェックシートの添付があるか確認し、記載内容の確認と指導を徹底しました。

(2) 各種承諾書並びに契約書取り交わしの確認を徹底する。

・映像・ポスター等作成依頼承諾書及び講師等出演依頼承諾書の取り交わしが必要な事業に関して、原本の提出を求め、保管を行いました。

13. 会計処理に関する事項の処理及び財務に関する確認

(1) 公益法人会計基準をもとにLOMの会計処理を行い、各委員会の財務会計の指導、助言を行う。

- ・ 7、9、10、11月に予算修正を行いました。
- (2) 各委員会の予算書及び決算書について、議案上程マニュアルに沿って審査と指導を行う。
 - ・ 予算書に関して、個々の内訳や科目を確認し、適切な指導を行いました。
 - ・ 決算書に関して、処理を行うにあたって領収書と支払申請書に不備がないか確認しました。
- (3) 各事業の会計処理は総務広報財政委員会の証人又は指導のもと行う。
 - ・ 領収書及び支払申請書の適切な処理と不備があった際は担当者へ指導しました。

14. 会員拡大を図る活動の実施

委員会内で40歳以下の候補者を挙げ、情報を共有しました。

15. 出向者の支援並びに各種大会への積極的な参加

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、出向者の支援並びに各種大会へ出来る限り参加させていただきました。

16. SDGsの推進と活用

関係各位にメンバー一丸となって2020年度の新体制を発信することができ、より良い関係性を構築することができました。

<高橋専務理事コメント>

本年度は総務広報財政委員会という例年に無い多くの担いを持った委員会として、様々な組織運営に携わらせていただきました。理事会及び常任理事会に加え、新たに財政審査会議を設け、コンプライアンスの徹底を行うという試みは法令遵守の観点から有効であったと考えています。しかしながら、新型コロナウイルス蔓延に伴い各事業の大幅な舵切りが必要となったため、臨時理事会、及び臨時常任理事会の回数は例年に比べ非常に多く、委員会メンバーの冷静な運営姿勢に助けられた一年となりました。本年新たに試みた様々な運営方法をブラッシュアップし、反省も踏まえてしっかりと次年度に繋げて参ります。

<野口委員長コメント>

今年度はコンプライアンスチェックや財政審査会議などの財政面も担う委員会として、非常に充実した一年となりましたが、両副委員長とメンバーに支えていただき、作業を分担することにより効率よく進めていくことで、なんとか走りきることができました。またコロナ禍において、発刊が叶わなかった「こま第148号」や、ドライブスルー役員選考委員会選挙の実施などが特に今年の印象に残るものです。初委員長として事業計画の難しさを知り、またコロナ禍という本年度特有の事情もあり計画遂行に至る各場面で大きく反省もいたしました。本年度、経験した多くの学びや反省を活かし来年の活動に繋げていきたいと思っております。

<武田副委員長コメント>

今年度は総務広報財政委員会の副委員長として、主に財政の部分を担当させていただきました。限りある予算を各委員会と打ち合わせを重ね編成を行いました。新型コロナウイルス感染拡大の為に、当初予定していた事業が中止になるなど、計画通りに進めることが出来ず、その度に予算編成を行いました。また、財政審査会議を行い、事業構築の効率化を考え、指導することの重要性を学びました。今回培った経

験をしっかり引継ぎ、青年会議所活動のさらなる発展に尽力していきたいと思います。

< 関副委員長コメント >

今年度は、総務広報財政委員会の副委員長として、主に広報について担当させていただきました。2020年度体制が発足した当初は、全く想定していなかった新型コロナウイルスの蔓延という事態の中、高橋専務、野口委員長の的確な指導、指示のおかげで大きな混乱もなく、一年を終えることができたことは大変良かったと思います。計画していた事業の中止によって、他の委員会と連携する機会が減ってしまったことは残念でしたが、今回の事態により学んだ様々な事務の効率化を次年度以降に引き継ぎ、より良い天童青年会議所を築き上げていただければと思います。

参考 [個別事業決算報告書](#)